

3月1日

### 海潮地区振興会 県民いきいき活動奨励賞受賞



島根県庁での授賞式を終え、市役所を訪れた海潮地区振興会のメンバーと速水市長。

**大東町**の海潮地区振興会（宮川昇会長）が、地域社会へ広く貢献した団体を表彰する「県民いきいき活動奨励賞」を受賞されました。この賞は、「島根県民いきいき活動促進条例」に基づく活動のうち、特に地域への貢献度が高いものや活動の先駆的なものを表彰するもので、今年度は海潮地区振興会と特定非営利活動法人あいの会（浜田市三隅町）の2団体が選ばれました。

海潮地区振興会は、地区内の人口減少や農地の荒廃が進む中、定住対策を地区の主要な課題と位置づけ、「田舎暮らし体験ツアー」や「U・イターン呼びかけ交流」、「うしおっ子ランドの開設」など、住民自ら地域の課題解決に向け活動を展開されています。



2月22日

### 国道54号 新三刀屋トンネル開通



三刀屋トンネルは、山陰と山陽を結ぶ大動脈として、日当たり15,900台の交通量があります。

このほど三刀屋トンネル（延長306m）の工事が終わり、その開通式が行われました。式では工事関係者らが見守る中、松江国道事務所の島村喜一所长や速水市長らが発破ボタンを押し、貫通を確認。引き続き、島村所長が「地盤が弱く、難工事だったが、地元の方々のおかげで順調に進ちよくした。このトンネルが未永く地元に残されることを祈りたい」とあいさつされました。今後、橋梁工事や取り付け道路の整備をすすめ、平成21年頃の供用開始を予定されています。

2月18日

### 地域に息づく 伝統行事 餅さし



吉田町上山地区で150年以上前から続く伝承行事「餅さし」があり、地元の住民らが集まり無病息災や五穀豊穡を祈願しました。当日は、地元の力自慢らが集まり、奉納された、重さ43kgほどある大餅を何回かを何回かを競い合いました。

2月25日

### 広島から 桜苗木1,000本の寄贈



木次大橋付近の下熊谷公園内では、関係者らによって記念植樹も行われました。

広島県廿日市の間接税（消費税、酒税）たばこ税など間接税の納税者で組織する団体（N.O.N.）に所属している同市の企業、株式会社NON（代表野村満重）から雲南市、奥出雲町、飯南町へ桜苗木が寄贈されました。

木次町の下熊谷就業改善センターで行われた贈呈式では、広島国税局間接税の唯山重夫専務理事が「この桜が島根県と広島県の交流の架け橋となり、さらに両県民の交流が促進されることを願います」とあいさつされた後、苗木がそれぞれの代表者に手渡されました。寄贈された千本の苗木は、雲南市へ600本、奥出雲町、飯南町にそれぞれ200本ずつ提供され、雲南市では、飯石広域農道沿いに植栽する予定にしています。

3月4日

### シバザクラ満開の春に 松笠地域の四季発信



**掛合町**松笠の松笠菜農組合（石橋健一組合長）が、島根県の「中山間ふるさと・水と土保全対策事業」を活用したカパープランツの植栽を実施されました。カパープランツとは、シバザクラなど草丈が低く地表を密に覆う地被植物と呼ばれる植物のこと、これらの植物で雑草を抑制し、草刈りなどの労力を軽減しように実施されたものです。

営農組合メンバーや地元の子どもたち60人は、明泉寺周辺の田畑のあぜ約540mに、シバザクラやシバを植栽していきました。松笠菜農組合では、「四季彩！ AGRIFUN（菜農）街道」をテーマにカパープランツ作業に併せて、サザナカなどの植栽も計画しており、四季折々の景観を発信していきます。



### 日本民謡フェスティバルへ 初出演

5月20日にNHKホールで開催される「第20回記念日本民謡フェスティバル2007（財団法人日本民謡協会主催）」へ、加茂町三代の永瀬文雄さんが出演されることになりました。

この大会へは、全国300か所で開催される民謡大会の優勝者ら40名が選抜・出演されます。出雲追分保存会メンバーの永瀬さんは、昨年11月にラメールで開かれた出雲追分全国優勝大会「師範の部」で見事優勝を飾り、今回の出場となりました。

全国各地の民謡が集う祭典への出場は、出雲追分保存会から初であるとともに、雲南市発祥の民謡「出雲追分」を全国にアピールする良い機会でもあります。永瀬さんの全国大会での活躍をご祈念いたします。

